

進路指導室へようこそ

令和5年度 MJ 進路通信 第30号

前橋女子高校進路指導部

令和5年12月15日（金）発行

■冬休みの準備をしよう

今年も残すところわずかとなり、もうすぐ新年を迎えます。1・2年生は来年4月には1つ上の学年に進級します。受験に向けた準備を今まで以上に意識する時期となります。受験生になる前に、これまでの学習などについて、この冬に意識するべき3つのポイントをまとめておきます。

①これまでの学習の「量」と「質」を再度見直そう

自分の学習スタイルを「量」と「質」の観点から振り返り、各観点で○△×の自己評価とその評価の理由、よかった点、反省点などを書きあげてみよう。

この時期成績を伸ばした受験生の多くに共通しているのは

- ・毎日一定の学習時間（特に休日）を確保している
- ・学習開始時間が一定である
- ・「暗記」よりも「理解」を重視した学習を行っている

などです。

②過去に受けた定期試験や模試の結果を振り返ろう

定期テストや模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず、力になります。復習のポイントは

- ・今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ・自己採点をする。この時、「答えがあっていたか」よりも「考え方がちゃんと正しかったかどうか」に注意して採点する。
- ・「考え方が正しくなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ・「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。

冬休みは年末・年始にあたり慌ただしい時期ですが、これまでの復習を行うチャンス。何から始めればよいのか迷っている人は、まず今までのテストを全部見直してみよう。必ず、自分の課題が見えてきます。

③志望校・進路について改めて考えてみよう

次年度0学期は「志望校の選択肢を広げる時期」です。自分が日頃、興味や関心のある分野について学べる大学・学部・学科の情報を広く集めてみましょう。そのなかで、自分が将来やりたいことをよく考え、志望校を絞り込んでみましょう。

※進路を振り返るためのヒント（チェックをいれてみよう）

- その学部・学科を志望した理由は何か
- その大学を志望している理由は何か
- 自分がその大学や学部・学科で学んでいる姿がイメージできるか
- 難易度だけで志望校を決めていないか
- 進学後や大学卒業後に「やりたいこと」「なりたいもの」はどんなことか

■3年生がこの冬にやっておくべきこと

（勉強を頑張るのは当たり前として・・・）

先日、3年生が受験する共通テストの受験票が届きました。本物の受験票を手にし、緊張感も一層高まったのではないのでしょうか。共通テストの会場は前橋女子高校。慣れ親しんだ校舎での受験は皆さんに大きな力を与えてくれるはずですが（ただし、浮かれてはいけません）。3者面談も終了し、1か月後の共通テストに向けて勉強を頑張るのみ、と言いたいところですが、実はこの1か月にしっかり準備しておかなければいけないことは結構あります。これからの3か月は「備え」の重要性を嫌というほど感じると思いますが、さしあたり今月のうちになっておくべきことは

①生活を朝型に切り替える

→共通テストの開始時間にあわせて勉強を始める習慣を。

②予防接種等の準備（ご家庭の判断になります）

③受験カレンダーの完成

④願書の取り寄せ、出願の準備

→受験する可能性のあるものはすべて用意しておく。意外と盲点なのはプリンタ関係。いざ印刷しようと思ったらインク切れ、ということのないよう予備インクも準備。

⑤宿泊地の確保、学割の申請

→今年度は国公立前期が2月の3連休と重なるため観光地などはホテルが確保しにくい状況にあります。

⑥調査書発行願ひ、写真、資格証明書等の準備

→共通テスト利用私大の出願手続は、年明け早々に開始され、共通テスト前日が締切というものが圧倒的です。直前になって慌てないよう、冬休みのうちに調査書以外の準備は全て整えておき、3学期始業式に調査書を受け取ったらその足ですぐに出願する、くらいの意識は絶対です。

■手続きは初日に済ませるつもりで

年明けは私大の共通テスト利用入試、一般入試、国公立大の学校推薦型入試など、出願に向けての手続きが慌ただしくなります。通常、出願は1/4(木)~1/12(金)のように、一定の期間が指定されています(当然1日でも遅れたら受理してもらえない!)。早く出せば合格の可能性が上がるわけではないですが、こういう出願というのは「初日に到着する」つもりで準備するのが常識です。受験生にとって一番大事なことは「勉強の時間を確保すること」。そのためにも出願手続はさっさと済ませて、切り替えていち早く勉強に専念するのが大事。

また、私大一般入試では、願書到着順に受験会場が割り振られる場合もあります。のんびりした結果、自宅や宿泊地から遠距離にある会場を指定されることもあります。面接を課す入試などでは順番が早くまわってきて早く帰れる可能性がありますし、合格発表で自分の番号を探すのも楽です。受けることになっている大学については、誰よりも早く手続きを済ませることが、実は合格の可能性を高めることにつながるのです。



写真：前女会場での共通テスト入場の様子

■共通テストの受験票って、こんな感じ

1・2年生の皆さんは、共通テストの受験票というものを見たことがある、という人はそれほど多くはないでしょうね。

共通テストの受験票は、右段のようなもので、受験に関するさまざまな情報が載っています。主な特徴としては

- ほぼ A4 サイズの大きさだがなぜかピッタリ A4 ではない。よって、A4のクリアファイルに入れるとはみ出してしまう。
- 受験票の下半分には、クーポン券のようなチケットがたくさんついている。これは、国公立大や共通テスト利用私大の受験の際、自分の共通テストの得点データの申請のために必要なものであり、決して受験料の割引になるものではない。
- 上半分には受験者情報に加え、受験科目や受験会場、受験番号等が記載されている。

1・2年生の教室には、今年度の「受験案内」を閲覧用に用意しますので、実際の出願書類を手にとって中身を確認してみてください。

■共通テスト直前1か月の過ごし方(3)

共通テスト直前の過ごし方についての先輩からのメッセージ第3弾です。新潟大学理学部1年 Tさんから

①共通テスト1ヶ月前はひたすら演習を繰り返していました。理系で国語が苦手だったので国語は現代文、古文、漢文のどれかしらを毎日1つやるようにしていました。他の科目も絶対2日に1回は取り組めるようにスケジュールを組んでいました。演習をして、丸つけをして、間違えたところを確認して自分が苦手なところをみつけてそれを潰すということをずっと繰り返していました。

②睡眠時間を必ず6時間とるようにしていました。私自身夜型の人間だったのですが、なるべく夜遅くまで勉強しないで、その代わりに朝早く起きて学校行って授業始まる前に1時間半弱勉強するという生活を送っていました。

③不安はたくさんあったのですが、自分を信じてとにかく毎日取り組んでいました。また、先生たちにたくさん話を聞いてもらってメンタル維持をしていました。

④本当に学力身についているのかなど不安になること私自身もすごくあったのですが、家族や先生、友達に支えられて受験を乗り越えました。特に私は友達という存在が大きかったかなと思います。受験に対する不安とかを理解してくれる1番の人は友達だと私は思っていて、同じ境遇にいるからこそ分かち合えることがたくさんあると思います。私自身いつも一緒に勉強する友達がいて2人でセットと先生たちに言われるくらいずっと一緒に勉強していたのですが、隣で一生懸命やっている姿を見て自分も頑張ろうと思えました。

受験勉強大変だと思いますが、頑張ってください 

